

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2017 夏
vol. 16



水面下の動きを探り、竿を引くタイミングを見計らう。普段元気な子どもの静かな背中。人も魚も真剣勝負、里海の釣り時間。（富浦漁港）

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「ろくすけの夜の過ごし方」	
□3～5月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「春の宿泊研修旅行」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□7月～10月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

年齢を重ねるごとに、月日の経つのがやけに早く感じるようになってきています。そのような中、今年もまた暑い夏が巡ってきます。

この季節は、自然学校のようなアウトドアを仕事としている団体にとっては、最も多忙な時期となります。

普段、なかなか自然に触れ合う機会の少ない子どもや家族が、海や山や川に出かけ、自然の中で弾けるように身体を動かすことは子どもの成長や家族の絆を強めることに役立つと考えています。

以前、独立行政法人 国立青少年教育振興機構というところで、子どもの自然体験活動が、その後の成長に与える影響について調査研究した結果を発表しました。

1. 自然体験の多い青少年は、道徳観・正義感が身に付いている。
2. 自然体験を多くしている青少年ほど、自立している。
3. 自然体験をすると、学習意欲が高まる。

など「生きる力をはぐくむ」ことに効果があるとの結論です。

このようなことから、私たちが日々活動している自然体験プログラムが、効果を生むものになっているか、世間の皆さんに自信をもって提案できているのかなど日々検証することが必要です。

プログラムの質が高く、参加者にも満足いただける中味にするため、これからも職員ともども、スキルアップのために日々研さんを積んで行きたいと考えています。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

5月末、快晴・大潮の富浦湾で地引網を引きました。力を振り絞ったのは、海辺の環境教育フォーラム2017 in 南房総という全国フォーラムに参加した研究者やダイバー、大学生たちです。網を引くこと約20分、徐々に網の先端が近づいてきます。50メートルほど先では網から逃れようと魚たちが飛び上がり、それを目にした一同の興奮は高まります。「捕れたぞーっ！」という漁協のオジサンの声で、皆が網を囲むと、アジやサバ、コショウダイ、ダツ、シタビラメがピチピチと跳ねています。

「わあーっ！」という歓声と共に童心に帰る大人たち。これ地引網の醍醐味です。実は今、このような経験を教育活動に定義するべく法整備の準備が進んでいます。

第一次産業は、様々な課題に直面していながらも、その営み自体が有する教育的効果は、廃れてはいません。

自然の恵みを得る喜びと醍醐味を次世代に伝えるお手伝いをしたいと思います。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「子どもの食事」

「いただきます！」の言葉と同時に、ガツガツとごはんを食べる子ども。昔のドラマや映画ではよく見た光景です。今はどうでしょうか？ここに来る子どもの食事の様子を見てみると、お友達と楽しそうに話しながらあまり箸が進んでいない、なんていう子もチラホラと見かけます。おしゃべりに夢中になっている子、おかずやご飯を箸でイジっている子など様々です。心がごはんに向いていないのに、目の前に出されたからとりあえず食べている、そんな風に見えます。しっかりとごはんを食べてもらうには？



「ちゃんと食べなさい」と口で言う。これは、一時的には食べだしますが、あまり効果はないように感じます。そもそもお腹がすいていない、少し具合が悪い、嫌なことがあって心が沈んでいる。原因は色々あるかもしれません。

ただ、やっぱり体を使って思いっきり遊んだ子は、楽しそうに嬉しそうに、笑顔でご飯を食べています。

外でたくさん遊んで、たくさんごはんを食べて、しっかりと寝る。当たり前のことが当たり前ではなくなっているように感じています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

私の娘が1歳8か月になるのですが、ハンカチ1枚でもかぶったり振り回したり遊びの道具に変えてしまいます。また、毎日公園に来る森のようちえんの子どもを見ると、落ちていた木の実や葉っぱなど、面白い物を見つけてはそれを使って楽しそうに遊んでいます。そんな様子を見ると、子どもは遊び道具がなくても、そこにあるものを何でも遊び道具に変えてしまう遊びの天才なんだなあ、と思います。

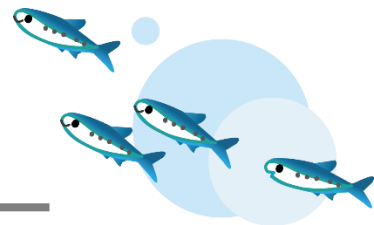
スマホが手放せない大人たちとは本当に対照的に感じます。人によりけりでしょうが、成長につれテレビやゲームで遊ぶ時間が増え、そんな遊びのセンスが失われていくのでしょうか。

自然の中を歩けば花や木の実、動物の痕跡や動物の鳴き声など、少し意識を向ければ不思議で面白いものがたくさんあります。スマホは少し置いて、自然の中で子どもに戻って遊びのセンスを磨いてみてはいかがでしょうか。



③④⑤月の現場レポート

《主催事業》



週末・子ども

秘密基地キャンプ

～憧れの秘密基地をきみの手で！～

3/25(土)～27(日) 2泊3日 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生

◆秘密基地づくり／作戦会議／たき火



今回は参加者30名、スタッフ10名、総勢40名のキャンプとなりました。天候は大荒れ、雨や雪に見舞われましたが、子どもは元気いっぱいに活動していました。スタッフも大屋根をタープで作し、焚き火を作り、雨、寒さ対策も万全にします。

それぞれの秘密基地のイメージを聞いたところ、ツリーハウス、地下洞窟など様々。天候がいい初日にできるだけ形にしましたが、みんなのイメージはまだまだ。夜の作戦会議でイメージを共有しました。ところ残り2日間雨と雪。しかし子どもはめげずに外へと飛び出していきます。たくましい子ども。秘密基地作りを通して、友だちとの中也深まっていきます。できる作業が増えていきます。寒さのなかでも動けます。いいアイデアがあれば共感し楽しさが倍増して行きます。そんな3日間でした。

週末・子ども

釣りきち探検隊① 釣り合宿

～釣りの基本と安全をおぼえよう～

4/29(土)～30(日) 1泊2日 古民家泊 南房総 古民家「ろくすけ」 小学生

◆大貫漁港・富浦漁港で防波堤釣り／古民家生活／野外炊飯



参加者17名、スタッフ7名、天候も安定し予定通り活動することができました。

はじめての釣りを楽しみにしている子が多く、やる気に満ちていました。「できるだけ自分でできる事を増やしていこう」をメッセージとして子どもに伝えました。餌のイソメを触ること。針につけること。釣り道具作り。はじめてのことに戸惑いながらも、少しずつ出来ることが増えていきます。

宿泊先は、豊かな里山の自然に囲まれた古民家「ろくすけ」。自分のことは自分で、という姿勢を忘れずに、時には年下の子を助けてあげる場面も随所にみられました。まるで、一つの家族のようなあたたかい雰囲気の中で生活しました。生活する時もあそぶ時も、お友達と一緒にその大変さや楽しさを分かち合うことができたようです。

週末・子ども

カヌー&フィッシング

～広大な亀山湖を大冒険！&とことんフィッシング～

5/3(水)～5(金) 2泊3日 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生

◆亀山湖でカヌー・釣り体験／大物ブラックバスゲット！／たき火



参加者12名、スタッフ9名、総勢21名のキャンプとなりました。2泊3日天候にも恵まれ、子どもは釣りとカヌーを全力で楽しんでいました。

最初は、怖がって付けられなかったミミズも最終日には自分で付けられるようになっていました。時間がたつにつれて釣りの技術も上達してきて、2人1組で協力しながらどこに魚がいるかをお友達同士で考えながら全員が魚を釣り上げることができました。

カヌーでは、亀山湖の自然に囲まれながらゆったりと自分のペースで楽しんでいました。船体を安定させるのに苦戦していた子どもも、段々と操縦に慣れてきて困っている班のお友達を助けてあげるような場面も見られました。

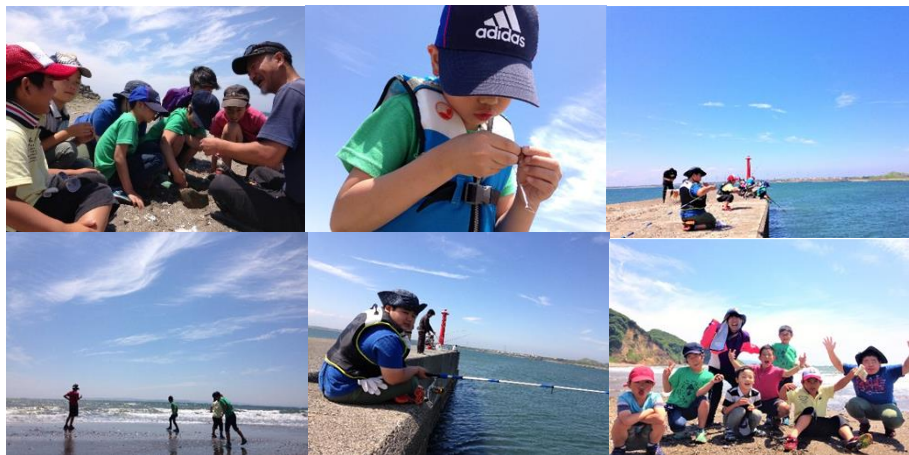
週末・子ども

釣りきち探検隊② シロギス釣り

～日帰りでリールの基本をおぼえよう～

5/27(土) 日帰り 富津市大貫漁港 小学生

◆大貫漁港で防波堤釣り／リールの使い方／海の危険な生き物を知る／さびき釣り・待ち釣り



参加者7名、スタッフ3名、総勢10名の活動となりました。天候は晴れ、ただし大風。しかし子どもは元気いっぱい活動していました。

シロギスをねらいましたが、メゴチ・クサフグ等が針にかかって来ました。釣りを始める前に海の危険な生き物の話をしました。中にはクサフグも入っていて、食べるのは論外、歯があるので噛まれると痛い思いをすることを伝えてあったので無事、針を外してリリース。

餌が触れなかった子が触れるようになり、仕掛けがこんがらがリライラする子が諦めず仕掛けを作り直す姿も見られました。大風の中、最後の最後まで、みんな竿を振り続けていました。子どもには、体験を通してできなかった事が一つでも出来るようにチャレンジして欲しいと思います。少しずつ、少しずつ進んでいければと思い、見守っています。

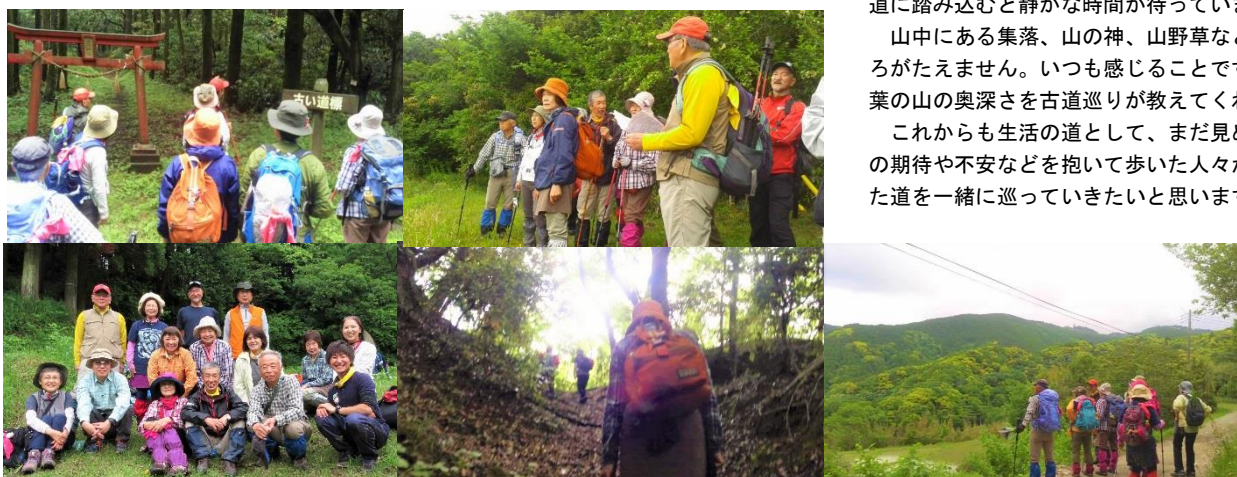
大人(シニア)

「房総の古道を歩く!①」

～鹿野山古道巡り 嶺岡中央環や湊道を巡る～

5/14(日) 日帰り 君津市・鴨川市富津市

◆鹿野山は古来、神野寺と白鳥神社への信仰に合わせて眺望の良さで知られています。昔をしのぶ見晴らしの古道へ。



参加者11名で鹿野山古道を歩いてきました。マザー牧場や神野寺が有名ですが、一步古道に踏み込むと静かな時間が待っていました。

山中にある集落、山の神、山野草など見どころがたえません。いつも感じるのですが、千葉の山の奥深さを古道巡りが教えてくれます。

これからも生活の道として、まだ見ぬ土地への期待や不安などを抱いて歩いた人々が利用した道を一緒に巡っていきたいと思います。

夏だ! キャンプだ!! 自然の中にレッツゴー!!!
夏キャンプもご参加お待ちしております!!





受託事業

「親子で行こう 畑の楽校」

6月11日（日）、佐倉市の体験農園 in 岩名に10組35名のご家族が集まりました。「畑の楽校」（子どもゆめ基金助活動）開校日です。

年間5回開催する「畑の楽校」は、収穫体験だけでなく、種まきから野菜の管理まで野菜を育てる過程も体験し、土に触れ、畑でたくさんの発見をしてもらおうという試みです。

畑に行くと、そこには虫や動物の足跡が。野菜を探せば、たくさん実っている野菜もあれば、1つしか実っていない野菜もあって、土の中に埋まっている野菜もありました。

こうして普段、自分たちが食べている野菜が、どんな場所でどんな風に育っているのか、当たり前のように当たり前ではないことを、体験農園でのホンモノ体験を通して、皆さんに発見してもらえる機会になればと思っています。

次回7月は夏野菜の収穫が最盛期。今回は豚汁&羽釜ごはんだった「旬の野菜で作る畑ごはん」（文：佐藤玲子／かつを）



ネットワーク事業

「ネットワーク勉強会」

今年度からスタートしたネットワーク勉強会。会員校さんがエリアを超えて学びあう場づくりを目的としています。今回は、5月に実施した「体験観光ステップアップ勉強会」についてご紹介いたします。



旅行商品として益々注目されてきている「体験メニュー」。今回は、理事の千葉県観光物産協会 石田さんのご協力の下、旅行業界で経験豊富なスタッフの方を講師に的確なアドバイスを頂きながら各団体のメニュー洗い出しを行いました。

特に学びがあったのは、旅行商品づくりの3だけ「今だけ・ここだけ・あなただけ」をいかに作り込むか。また、今の時代は、体験メニューに尖がりがないと売れない。そして、キャッチフレーズなどからいかに伝えるかの大切さなど多くのことを学ぶ機会となりました。

着地点は、秋の首都圏商談会への売り込み。楽しく学びながら、挑戦あるのみです。

（文：谷慶子／けろっぴ）



上総事業部会

「環南みんなの楽校」

平成20年に廃校となった「富津市立旧環南小学校」を活用し、志駒・山中地区の地元住民が中心となって収穫体験等を行っています。今年度も全6回の活動を予定しています。

第1回目平成29年5月21日（日）に参加者8家族23名のみなさんが集まりました。当日の体験プログラムは「そらまめの収穫&ピザ作り 新緑ハイキング」。もりだくさんの活動です。

「そらまめ全部取っていいのー」「中がふわふわ」などの声が響きます。粉から練り上げるピザ作りが楽しそうです。

新緑のハイキングで出会った「大いちょう」の大木に感激。

夏の様な日差しの中、ドラム缶で焼きあげるピザ。すぐにサツマイモの作付け。おやつの牛乳におむすび。スタッフが参加者の「楽しかったー」のために頑張る楽校です。

（文：佐藤昭仁／アリ）



■こんな取り組みもしています■

寄り道マルシェ in 塚本ビル

千葉駅前、千葉自然学校の事務所のある塚本ビルの1階ロビーにて、マルシェを開催しています。ネットワーク会員校などからの地元の旬の野菜や加工食品、また自然学校からはろくすけ工房で作ったろくすけもちなどを販売予定。期日限定、売り切れ次第終了の限定感あふれるマルシェです。ご興味ある方、お問い合わせください♪

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「磯の生きもの発見ツアー」

春は1年の内で一番大きく潮がひき、絶好の磯遊びシーズンです。海藻が生い茂り、新しい命も生まれています。黒潮の影響を受け、南房総は生き物達の宝庫。海浜生物だけでも100種類以上は生息しています。

潮の良い時期を狙って全5回実施。おかげさまでどの回も満員御礼です。参加者は、小さいお子さんから年配の方まで。どの年代の方でも楽しめる、それが磯遊びです。たくさんの生き物に出会いました。背中に海藻をたっぷりつけ完全装備のイソクズガニ、頭にボンボリを付けたオシャレなコケギンボ、耳！？のついたかわいらしいミミイカ。挙げると切りがないくらいです。

形態から生き様や環境が分かります。また、実際に触れてみることで生態をより感じられます。ナマコやアメフラシのプニプニ感、ウニを掌に置いた時のモゾモゾ感。実際にそこに住む生き物を観察し、触れて、暮らしぶりを感じることができました。



もちろん観察した後は、彼らのお家である海へ還します。

磯遊びは、海の環境や生き物を知る良い機会です。

海に感謝。是非、皆さんも磯場に訪れて海の生き物に触れてみて下さい。

(文：香山正幸／かやまん)

千葉県立大房岬自然公園

「岬レンジャー 岬の秘境探検」

公園内の生きものの調査や保全をしながら自然を守る小学3～6年生までの小さなレンジャーの活動、岬レンジャー。今年度も6回開催を予定しておりますが、5月14日に第1回目の「湧水池の生きものを探せ」を開催しました。普段公園に遊びに来て上からのぞくだけの湧水池、どんな生き物が住んでいるのかの大搜索です。レンジャーたちも泥だらけになりながら生きものを捕獲しました。見つけた生き物は…、オタマジャクシ、ヒキガエル、サンショウウオ、ヤゴ、カニ、シデムシ、ミスジコウガイビルなどなど。

こんなことにチャレンジしています！

「ろくすけ近況」

梅雨入りしました。でも、もう大丈夫。「ろくすけ」の裏側屋根は、昨年12月の茅がり作業、1月から2月の茅ふき作業のおかげできれいに葺き替えられ、雨漏りの心配はありません。みなさんのご協力のおかげです、有難うございました。

こんなに大勢の皆さんに愛され支えられている「ろくすけ」は幸せな家だな…と思います。

平成16年に出会い、子どもたちに里山暮らしの楽しさや知恵と技を伝える場所として、また、職員の宿舎としてお借りして以来、早いもので13年になります。築180年と言っているけれど、実際には193歳。年ごとに元気になって、昨年度は190日以上約2,000人近い人が利用しています。

週末ホームステイなど子どもたちのキャンプ、ハイキングや郷土料理塾の利用、子育てグループの利用、「ろくすけ」を応援する千葉シニア自然大学在校生・OB・OGによる「ろくすけの会」の農産物の栽培・加工と援農活動での利用、そして、地元活性化に取り組んでいる平群ツーリズム協議会の活動支援など、様々な交流や活動の場になっています。

また、活動中、こちらから促したわけでもないのに池の中のゴミを拾ったり、流れをせき止める葉っぱの塊を取り除いたり。レンジャーたちも立派に自然への意識が芽生えていたようです。



いっぱい遊んで、いっぱい学んで、いっぱい活動して、本当に頼もしいレンジャーたちです。(文：山口亮介／コメ)

千葉県立君津亀山少年自然の家

「おから de スイーツ」

6月4日(日)君津亀山少年自然の家主催イベント「おから de スイーツ」を実施しました。おからは君津市の小糸川流域で守り育てられてきた「小糸在来」の大豆を使用し、おからクッキーとおからバナナケーキを作りました。

この小糸在来は、本来の大豆よりも甘味が強く、えぐ味のない食べやすい味とほのかな香りが特徴です。焼き上げの際は、専用のドラム缶釜でゆっくりじっくり弱火で焼いていきました。市販のクッキーはサクサクした食感が主流ですが、おからを使用することでふんわりとした仕上がりになりました。バナナケーキも外はふんわり、中はもっちり焼き上がりました。

子どもにも大人気で、おからというとなんとなくこどもは苦手かもという印象ですが、スイーツに取り入れることで、作



った分すべてぺろりと食べてしまうぐらい美味しかったようです。

ご家庭でもオーブントースターを使えば簡単に作れますので、ぜひ一度お試しください。

(文：工藤圭／しんちゃん)

最近、あちこちで古民家再生が話題になっています。改めて千葉自然学校が「ろくすけ」を維持する意義や目指すものは何だろうか…と考えたり話合ってみました。

建物をリニューアルして残すことが目的ではなく、住み続け、その中で自然とともに暮らした先人の知恵を体感し、補修しつつ建物の命を使い切る…それは人の生き方にも通じる。そんな「ろくすけ」のつきあい方の中で、自然や里山・地域について学んでゆきたいと考えています。

6月7日、「ろくすけ」に大きな変化がありました。家主の若林昭典(君津市在住)さんから千葉自然学校の活動に共感し、建物を寄贈するとのお申し出をいただき登記を済ませました。土地については、集落全体にも関わるところもあるので、今まで通り無償で使わせていただき、適正に管理すると覚書を交わしました。

今年度は、消防法をクリアし耐震性の補強等をして、安全安心して宿泊できるように簡易宿泊所の許可を取得します。そして、岩井民宿組合や鴨川農家民宿組合等と連携して農泊を推進する計画です。

すこしおんぼろだけどみんなに愛され活用される「ろくすけ」を200年、さらに歳を重ねて支えてゆけたらいいと願っています。

(文：遠藤陽子／サニー)



7月

2017 年度沖ノ島・サンゴに出会えるスノーケリング体験プログラム

夏の沖ノ島は、東京湾に生きている北限域のサンゴを観察でき、様々な水中の生き物や魚たちと触れ合う事が出来る貴重なフィールドです。「浅い・コース」と「アマモ・コース」と「深い・コース」の3つのプログラムを開催します！

各コースとも、十分な練習を行い、海の中の様子を自分の目で見る事が出来るプログラムです。

【開催日】7月～9月

【時 間】午前の部 10：00～12：30

午後の部 13：30～16：00

【参加費】1人 3,500円

【連絡先】NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団

TEL & FAX：0470-24-7088

E-mail：umikan@lapis.plala.or.jp

2017 年 虫大好き西田君と行く森の昆虫とり

虫大好き西田君とセミ、チョウ、トンボ、カブト、クワガタなど、夏の森で見られる昆虫たちとふれあい、採集、その生態を観察します。夜はホテルや森の動物に会いに行くナイトハイク。明かりに群れる虫を観察（荒天の場合、体験変更あります）。

【開催日】7月22日（土）～23日（日）

【参加費】1人 9,000円

【連絡先】森林塾かずさの森

TEL & FAX：0439-35-2114

E-mail：info-kfs@kazusanomori.com

かんたん！燻製作り

熱燻（ねつくん）で作る、ウインナー、ししゃも、厚揚げ・バナナ・ピーナッツの5種類の燻製。出来たての味と香りを召し上がれ。（所要時間30分）。

【開催日】7月23日（日）、28日（金）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】500円

【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

木彫りの小鳥を作ろう

バルサ材や板などを使って小鳥を作ろう♪

【開催日】7月29日（土）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,100円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

海チル川チルアドベンチャー

潮が引いたときにしか行けない海岸線を探検し、森の奥深くにある滝つぼに飛び込んでみよう！

【開催日】7月31日（月）～8月3日（木）

【対 象】小学生、中学生

【参加費】会員 36,000円、一般 39,000円

【会 場】大房岬自然の家、君津亀山少年自然の家

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL：043-224-1400

E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



8月

夏休みネイチャークラフト教室

木の実や枝、葉っぱなど、森の自然素材を使った工作体験♪

【開催日】8月1日（月）～8月31日（水）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】①板 600円 ②木の実のリース 1,200円

③小枝のミニスタンド 800円

【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

里山の昆虫探し

自然観察会イベント。里山の昆虫をおもいきり探そう！

【開催日】8月2日（水）～3日（木）

【参加費】大人 4,000円、小学生 2,000円、未就学児 無料

【会 場】上総自然学校（袖ヶ浦市）

【連絡先】上総自然学校

TEL：0438-75-7414 FAX：0438-75-7630

1WEEK 探検村キャンプ

多様な自然環境と文化に恵まれた、宝ものが詰まった小谷村で一周間キャンプにチャレンジ！

【開催日】①8月4日（金）～10日（木）

②8月18日（金）～24日（木）

【対 象】小学生～高校生

【参加費】会員 69,800円、一般 75,800円

【会 場】わらび平山荘・石坂森林探検村（長野県）

【連絡先】ヤックス自然学校

TEL：043-202-7070 E-mail：yacs-camp@chiba-ns.net

オリジナル時計作り

文字盤を自然素材（木の実等）や小鳥の切り抜きに変えて、オリジナルの掛け時計を作ろう♪

【開催日】8月5日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,600円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

夏の里山里海大冒険キャンプ

古民家「ろくすけ」に宿泊しながら、日本の里山里海の遊びを満喫♪海水浴、たき火、星空観察、みんなでそろっての食事、流しそうめんなど夏ならではの&里山里海ならではの貴重な体験を！

【開催日】8月17日（木）～20日（日）

【対 象】小学生

【参加費】会員 36,000円、一般 39,000円

【会 場】南房総市古民家「ろくすけ」

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校 予約センター

TEL：043-224-1400 E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

小櫃川をボートで下る

全長 120kmの楽しい所をゴムボートで川下りの冒険ツアー！

【開催日】8月19日（土）～20日（日）

【対 象】小学生以上

【参加費】大人 10,000円、子供 8,000円

【連絡先】森林塾かずさの森

TEL & FAX：0439-35-2114

E-mail：info-kfs@kazusanomori.com

**9月****バーニングアート**

電熱ペンを使い木材を焦がして絵を描こう♪

【開催日】9月9日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,100円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

谷津田のお米作り～稲刈り～

谷津田のお米作り・山系イベント。たわわに実った稲穂を刈ろう!

【開催日】9月9日(土) & 10日(日) ※各日帰り

【対象】どなたでも(未就学児・小学生は親同伴必須)

【参加費】大人2,000円 小学生1,000円 ※未就学児は無料

【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)

【連絡先】上総自然学校

TEL: 0438-75-7414 E-mail: satoyama@shinko-ji.jp

GO! GO! サーフィン体験

ロングボードで波に乗り、ダイレクトに地球のリズムを感じよう! 初めてでも楽しくサーフィン(波遊び)を体験♪

【開催日】9月16日(土)

【対象】小学生

【参加費】会員7,800円、一般8,800円

【会場】岩井海岸(南房総市)

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター

TEL: 043-307-1211

E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

カヌー&フィッシングキャンプ

亀山湖で漕いで漕いで釣りまくり! カヌー初挑戦でも大丈夫。湖の奥まで出発だ!

【開催日】9月16日(土)～18日(月祝)

【対象】小学生

【参加費】会員30,000円、一般33,000円

【会場】君津亀山少年自然の家、亀山湖

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL: 043-224-1400

E-mail: cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

秋の草木染め『クリ』『お茶っ葉』

クリのイガまたは緑茶の出し殻でストールを染めます。好きな絞りで模様を入れます。クリのイガでこげ茶、お茶っ葉で濃いグリーンが染まります。

【開催日】9月24日(日)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,500円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

みんなでキャンプ

初心者でも安心! テント張りから野外炊事、竹の食器作り、団旗作り、ナイトウォッチング、ネイチャーゲームやクラフトなど、もりだくさんの2日間♪

【開催日】9月30日(土)～10月1日(日)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】大人3,600円 4才～中学生2,200円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

**10月****手打ちうどん作り**

家庭でも出きるうどん作りと、竹を使った箸を作ります♪

【開催日】10月7日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,000円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

サツマイモ掘り&キノコの観察会

里山でサツマイモを掘ったり、キノコを見つけよう!

【開催日】10月21日(土)

【対象】どなたでも(未就学児・小学生は親同伴必須)

【参加費】大人2,000円、小学生1,000円、未就学児 無料

【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)

【連絡先】上総自然学校

TEL: 0438-75-7414 E-mail: satoyama@shinko-ji.jp

**『古城址ハイキング』より久留里浅間山から
新旧久留里城**

内田栄一氏の著書より「久留里浅間山から新旧久留里城」コースを内田氏の案内で歩きます。

【開催日】10月25日(水)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1人1,500円・4才～中学生300円、

4才未満100円(森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額)

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

森のハロウィンキャンプ

森の素材で仮装を作り、オレンジカボチャでランタンを作って、ハロウィンパーティーを楽しもう★

【開催日】10月29日(土)～30日(日)

【対象】幼児(年中・年長)～小学生

【参加費】会員10,000円、一般13,000円

【会場】君津亀山少年自然の家

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL: 043-224-1400

**通年親子イベント****千葉自然学校親子塾**

親子で自然にふれ、生物・生命の不思議と繋がりを学びましょう♪ 講師: 中村俊彦氏(元中央博物館副館長他)

(1) 里山里海コース(自然と人間とのかかわりを学ぶ)

【開催日】②7月23日(日) ③8月20日(日) ④9月17日(日) ⑤10月8日(日)

【参加費】各回ごと: 親子2人1組 5,000円

※1人追加 1,000円、未就学児 無

【会場】千葉市若葉区谷当堂谷津・三番瀬

【協力】NPO法人バランス21・「わたしの田舎」谷当工房

(2) 都市コース(街に息づく自然と生命を学ぶ)

【開催日】①10月14日(土) ②11月18日(土) ③12月9日(土) ④1月27日(土)

【参加費】各回ごと: 親子2人1組 5,000円

※1人追加 1,000円、未就学児 無料

【会場】東大石川植物園、東大本郷キャンパス

【連絡先】NPO法人千葉自然学校

TEL: 043-227-7103 FAX: 043-202-7237

★他にも楽しいイベントもりだくさん!

Webをチェック! 検索

●ろくすけ日和『ろくすけの屋根』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

ろくすけに住んでいると皆さんから「夜は何して過ごしているの？」と聞かれます。我が家にいらっしやった方は分かると思いますが、家にはテレビは無い、周辺にはお店も無い、夜は真っ暗…という環境です。最初の頃は「本を読んだり、音楽を聴いています」と答えていましたが、周辺には夜にしか体験できない自然がたくさんあります。

まずは星空観察。ろくすけ周辺は街灯がほとんどないので月の見えない夜は満天の星空を眺めることが出来ます。夏の時期は「さそり座」や、大三角を作る「はくちょう座」や「わし座」、また天の川もきれいに见ることが出来ます。

他にも鳥の鳴き声を楽しめます。ろくすけ周辺にはフクロウが生息しており、夜になるとオスとメスが呼応するように鳴いています。最近ではなぜか夜中に夏鳥のホトトギスが鳴いています。ホトトギスは通常明るい時に鳴くのですが、フクロウとホトトギスの鳴き声を同時に聞ける贅沢な場所と思って聞いている。

そして最近覚えたのが夜の昆虫調査です。先日シニア自然大学の浅井さんと宮田さんとライトトラップ（光で昆虫を集める装置）を行いました。5月下旬でまだ昆虫は少ないかな、と思ったのですがたくさんの昆虫がやってきました。といっても大半が蛾の仲間、でもその中に大きな「ミカドガガンボ」やカミキリムシに似ている「カミキリモドキ」などマイナーな昆虫もたくさん見ることが出来ました。ライトトラップはまた継続的に行う予定ですが、これから夏に向けてきっといろんな昆虫たちがやってくることでしょう。

昆虫だけでなく植物や動物でもいつの日かろくすけや平久里にしかない新種の生き物を発見！なんてことを夢見ながら生き物調査にいそしみたいと思います。

（文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地／だいすけ）



●千葉シニア自然大学 「春の宿泊研修旅行」

恒例の春の宿泊研修旅行は、昨年と同様に九十九里・銚子方面に佐原の町並み見学を新たに加えた1泊2日の行程です。

6月1日の13時に千葉駅前を出発。まずは山武市歴史民俗資料館と伊藤佐千夫の生家を訪ねました。若い平山智子さんの熱心な案内の後、海の駅九十九里の「イワシ資料館」を見学し、宿泊地のサンライズ九十九里に着。ここでは元九十九里高校教諭の斉藤功先生の九十九里の歴史・地理・文化などの講演を拝聴し、1日目の研修終了。夕食後の懇親会は、参加12名の6期生の互いの紹介などで盛り上がり、部屋に持ち帰っての二次会も夜更けまで続けました。

2日目は、8時に出発。途中、八日市場駅で当日参加の1名が加わり、スタッフ2名の総勢15名で「地球の丸く見える丘」に着。銚子ジオパーク推進協議会の伊藤さん、加藤さんのガイドで、屏風ヶ浦ジオサイトツアー・約2時間コースをめぐりました。前日同様に好天に恵まれ予定時間をややオーバーし、ニュー大新ホテルで昼食。この日は当ホテルのマイクロバス・若主人の運転で銚子から、佐原の町並み、成田駅までの行程をチャーターして頂きました。

佐原への途中で突然の大雨に会ったものの町並み見学の時には雨も上がり、「佐原町並み交流館」の高山正弘さんの案内で、江戸情緒の町並みを涼風の中で、歩き回りました。16時40分に成田駅前着、皆、元気よく解散して行きました。各地、各所で大勢の方々のご好意を受けました。本当にありがとうございました。（文・写真：吉岡章次）



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

一昨年仕込んだ味噌を、昨年秋から食べています。樽の底近くになって、塩味が強くなってきたように感じます。本来なら、使い始める前によく天地返しをして味を均一にしておくべきだったのですが手抜きの結果です。

でも、これもいいかな…と思います。だんだん気温が上がってゆくと、塩分が低いと味が変わる心配もあります。また、食べ手にとっても暑くなれば塩分が必要になるので、それなりに理にかなっているのかなと思っています。

手前味噌といわれそうですが、手作りした味噌はおいしいです。今年も7月に大豆の種をまいて10月に収穫して、12月から春先まで味噌を仕込みます。

実だくさんの味噌汁、魚や肉の味噌粕漬け、木の芽、しそ、ゆず味噌、焼き餅・焼きおにぎり、味噌煮、味噌味の卵焼き…と、いろいろな利用ができます。

(文:遠藤陽子/サニー)



松田料理長のおすすめしじじい～高級食材～

今回は、世界の高級食材を紹介したいと思います。

◎キャビア

キャビアはチョウザメの卵で、世界を代表するグルメフードの1つである。チョウザメは生きた化石とも呼ばれ、古生代の魚であるが、サメ科ではない。蝶のような大きな鱗があるので名付けられた。歯がないので、人間にかみつくこともないおとなしい魚である。その種類は世界で26種。19世紀末までは、大西洋・太平洋・バルト海・黒海・カスピ海に注ぐ川に豊富に住んでいたが、乱獲と環境変化により激減して、現在では、カスピ海・黒海・フランスのギロン川に限られて、中でも、主産地はカスピ海である。このカスピ海は、南側がソ連で、北側がイランの領地で、両国の厳重な国家管理のもとに生産が行なわれているが、20年余りの乱獲のために生産は激減し、加えてカスピ海に注ぐボルガ川一帯のコンビナートからの排水とダム建設による水位の低下などで、チョウザメの繁殖には不適な条件となっている。

◎フォアグラ

フォアグラは、グルメフードと呼ばれて、食通の人気を集めている。フランス語では、パテ・ド・フォアグラで肥えた肝臓のペーストという意味であり、ガチョウの肝臓に限られている。南フランスのツールーズと東部フランスのストラスブールが特産地である。ガチョウは、ガン属の水鳥であり、野生のガンをならしたもので肉を取る目的で飼育されている。このガチョウの品種を大別するとツールーズ種・エムデン種・支那種に分かれる。ツールーズ種はフランス原産で、灰色のガチョウの中では一番大きい。エムデン種はドイツやイギリスで多く飼われている品種で、羽は純白である。支那種は白色種と褐色種があり、くちばしの上にコブがあるのが特徴である。日本で見られるのは支那種が多い。フォアグラのとれるのは、ツールーズ種であり、それも、フランス産かハンガリー産に限られている。

◎トリュフ

トリュフは西洋松露ともいわれているが、地下に育つキノコで、フランスの誇る世界的なグルメフードの1つである。フランスでは、スイス国境に近いドーフィネ地方・中央部のブルゴーニュ地方・北西部のノルマンディー地方にも同類は産出されるが西南部ペリゴール地方のものが、最高で最も美味でいてかつ量も多い。トリュフには黒と白があるが、黒色したものが品質的にも断然優れて珍重されている。ドイツ産やイタリア産は白が多く、ローマ時代やルネッサンス期にイタリア人が賞味したのも白トリュフである。ペリゴール地方で、トリュフが発見されたのは約300年前のこ野猪が集まって地面を掘り起こして何かを食べているのを見て黒い丸いキノコのようなものを発見した。これがトリュフであった。

◎ツバメの巣

ツバメの巣は、数多い中国食材の中でも最高の珍味の1つで、英語ではバードネストと直訳されて、中国では燕窩・燕巢・燕菜などと呼ばれる。一般には、ウミツバメの巣と言われているが正しくはアナツバメの巣である。ウミツバメはアホウドリの近縁で、ムクドリぐらいの大きさであり、岩の裂け目や土中に穴を掘り産卵するのでツバメの巣とは無縁である。アナツバメはアナツバメに属する鳥で、ツバメよりも小さく細く翼長は12cm程度であり、背面は淡黒褐色で腹面は白色をしている。石灰岩の海岸に棲んでいて、断崖にある洞窟に巣をつくる。巣の材料は自分の唾液が主で、ほかに少量の海藻などが含まれている。集団で生活する習性があり、中国南部からインドにかけて多く見られる。

(文:松田光央)

●団体会員（34団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

■近頃、月や星座など夜空を見上げることが多くなりました。月のクレーター、北斗七星、カシオペア、北極星、天の川、夏の大三角など数々の天体に魅せられ、新たな楽しみが一つ増えました。天体観測で、衰え著しい視力を少し回復させられるかも知れません。

(オーシャン)

■大房自然の家でろくすけ餅を食事に使っていただいています。量産体制を作って小ビジネスを目指したい。(サニー)

■今年の夏は平年よりも暑いと三ヶ月予報が発表された。ならば少しでも涼しい場所へ行かなければ！(ボクサー)

■農家を維持しようとする毎日ちよつとづつ手入れが必要なのが、ろくすけを通してみえる。(べったん)

■夏キャンプが始まるよー！子どもたちにとって、一歩踏み出したチャレンジになりますように！(たこはち)

■いくつになっても「夏」はチャレンジしたくなる季節。チャレンジ体験が子どもを成長させる！いざ！(けろっぴ)

■アート&クラフトフェアに行ってきました。手仕事、もの作りは憧れです。(かつを)

■夏が始まる。心も体も元気よく！
(のりべん)

■数年ぶりに雪のない北海道へ。ちょうど桜が満開。改めて千葉との違いを実感。(らうす)

■走りだそう！心も体もたくさん汗かいて、新しい自分に出会える夏に！(さぼてん)

《編集後記》

桜の開花、新緑の芽ぶき、雨の気配を経て…季節は夏へ！雲間から覗く太陽の眩しさに心が躍る今日この頃。今年もスペシャルな体験を★
(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～
寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先(郵便局)▼

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

▼振込先(銀行)▼

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：<http://www.chiba-ns.net> メールアドレス：info@chiba-ns.net

